

# 求める会ニューズ No. 984

## 食料環境セミナー報告

「韓国の学校給食と有機農業—『ソウル市親環境無償給食成果白書』を読む—」

むくげの会会員 近藤 富男さん

1月27日(水) 10:30~12:00

神戸大学畜産学科の学生だった時、「生態系と農薬」を読んで農薬は薬ではなく毒なんだと気づきました。保田茂先生に師事し全国各地、兵庫県、あちこち行き、市島町に有機農業研究会が誕生した初期から関わりました。最初のころカボチャがたくさんできて、求める会の各ステーションにトラックで運びました。中学校の教員になってからは目の前の在日コリアンのことが一番心にかかり、韓国に何度も行き韓国語も勉強しました。有機農業と韓国、二つのことが今につながります。

朝日新聞でソウル市の親環境（環境にやさしい）無償給食の記事を見つけ、関心をもって見ていると、コーディネーターによる韓国給食ツアーの募集があり、すぐに参加を決めました。2019年9月6日ソウル市の中学校で給食を体験。学校はとても開放的です。市役所では担当者と話し合いましたが市長はかっこよかった。7日には親環境農産物を作る農家に行きました。大都会の中に在来種タネ図書館、貸農園があったり、無農薬米専用の精米工場があったりしてびっくりしました。

ツアーで「ソウル市親環境無償給食成果白書」をもらいました。翻訳して読むと改めて驚くこと、聞きたいことがたくさんあり、次のツアーで尋ねてセミナーで伝えようと思っていましたが、新型コロナのため実現しませんでした。

韓国の学校給食は1953年カナダからの

粉ミルクに始まります。1996年委託給食導入で一気に広がりましたが、業者の営利追求で安い輸入農水産物を使ったり、衛生管理がずさんだったりして食中毒など多くの問題が起きました。2008年BSE問題も起き、保護者と市民が持続可能な農業、農村と子供たちの健康を守るため立ち上がりました。2010年の地方選挙では親環境無償給食が政治的な関心になりました。①親環境無償給食は教育。②親環境無償給食は普遍的な福祉の実現。③親環境無償給食は地域経済を活性化。④親環境無償給食は新環境農業を拡大。⑤親環境無償給食はこどもたちの幸せだ。これが保守与党ハンナラ党以外のすべての政党の政策になり、親環境無償給食を支持した人が多数当選しました。

ソウルでは市長は無償給食に反対する保守党候補が当選。無償給食を拒否し住民投票を提案しました。市民は金持ちの子供か貧しい子供かを選ぶ投票を拒否する運動を展開。住民投票は成立せず市長は辞職。補欠選挙で当選した朴元淳はすぐ小学校5、6年生の無償給食を決裁。2020年には小中高全学年実施が実現しました。3つの流通センターを作り厳格な検査をして生産地から学校まで新鮮で安全な食べ物が直接運ばれています。親環境食材の基準も厳しいものです。また農産物の生産者は約70%が小農です。中小家族農が応援されています。学校でも菜園が作られ、学校が変わりつつあります。子供たちを含めて都市と農村の交流がされ、学校給食を通じて健康な食べ物市民を増やしています。

無農薬米、親環境野菜果物の利用で温室効果ガス排出も減らしています。今韓国に学ぶことがたくさんあると思います。

(西山グループ 岡 和美)

### 3月のカレンダー



3月10日(水) 部会  
3月17日(水) 全体会(予定)  
3月20日(土) 共同購入申込締切日

#### 【「ゆうきすと」編集委員会からのお願い】

1月にお配りした「ゆうきすと」(最終号)の原稿の依頼、締め切りは3月31日です。

全体会(3/17)に持参していただくか、お早めに事務局まで郵送してください。

### 3月全体会議題

- あしの会との話し合いについて
- 総会について
- 2021年度の活動計画について

### 食料環境セミナー

3月24日(水) 10:30~12:00

「福島第一原発事故から10年  
～放射性汚染土の拡散を止めるために」  
神戸大学英語講師

さよなら原発神戸アクション共同世話人

小橋 かおる さん

会場: 神戸学生青年センター 参加費: 600円

### <会の今後についてのお知らせ> あしの会との話し合い③

1月26日(15時から約2時間)、あしの会代表の奥谷さんと求める会の6名が出席して、西宮北口のプレラ会議室で話し合いました。今回は、前回の報告(ニュース2021.1月号)にありますように、各生産者の意向(あしの会を通す形で物品を出してもらえるか)を聞いた結果をもって奥谷さんに会いました。

みかん・びわの山口さん、りんごの小松さん、豚肉のトントンさん、牛肉の京村さん、醤油の浄慶さん、油の影山さん、お米の高木・池野さん、卵の足立さんはどなたも了解でした。お茶の葉香製茶さんはもともと求める会より先にあしの会との繋がりがあったので大丈夫です。小豆・もち米の藤田さん、お米の橋本拓巳さんも了解してくださると思っています。麴の橋屋さんも以前からあしの会とつながりがあるのでお願いできると思っています。ということで、以上の物品は、今後の細かい打ち合わせで、整理されるものがあるかもしれませんが、大体いままでと同じように届き、支払いもあしの会の方で自動引き落としになります。

イチゴの小林さんは腐りやすいものなので検討課題です。蜂蜜の俵さんは、年間でも2回ほどだけ頂いているものなので、別交渉になるかと思っています。丹波乳業の牛乳は、現在あしの会を入れて4か所から配達してもらっていて、丹波乳業の話では希望する配達所を選ぶことができるそうです(そのまま続いて届けてもらってもいいし、あしの会に変わってもいい)。ただ支払いは、あしの会は自動引き落としになりますが、他の3か所は個人的なつながりになるため、個人ですることになります。小麦粉の魚住さんとはまだですがこれから連絡します。野菜については、全体会報告にもありますが、橋本さんはあしの会経由、一色さんは個人宅配を希望しておられますので、配送のルートと会員の希望を勘案しながらどちらの生産者になるかを、野菜を希望する会員と話し合うことになります。

今回はこのような内容を話し合い、あとはさらにきめ細かい打ち合わせを奥谷さんにお願いで終了しました。ご意見・疑問点などありましたら事務局までご連絡ください。